

8

令和3年度

主要な施策の成果に関する報告書

< その2 >

多賀城市まちづくり報告書

(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

令和4年9月

多 賀 城 市

目 次

8<その2>

この報告書は、3分冊で構成されています。この冊子は「8<その2>」です。

IV 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)	1
1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは	
(1) 施策別評価の概要	3
2 全体の動向	
(1) 将来都市像指標の動き	4
(2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)	4
(3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)	5
(4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)	6
(5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)	7
3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)	
(1) 施策・基本事業評価の見方	8
政策1 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり(安全安心)	11
政策2 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり(健康福祉)	23
政策3 夢と希望が輝く 誰もが成長できるまちづくり(教育文化)	47
政策4 都市と自然の環境調和 快適で潤いのあるまちづくり(生活環境)	63
政策5 地域の資源と知恵をいかす 活気あふれるまちづくり(産業活気)	77
政策6 地域の未来を共に創る 絆と誇りを築くまちづくり(地域創生)	89
政策7 縮減社会への対応 持続可能な行財政経営(行財政経営)	97
(参考)多賀城市まちづくりアンケート調査結果<令和3年度実施>	109

この「主要な施策の成果に関する報告書」は、第六次多賀城市総合計画に基づく令和3年度の事業と決算のあらましについて、3分冊で構成されています。

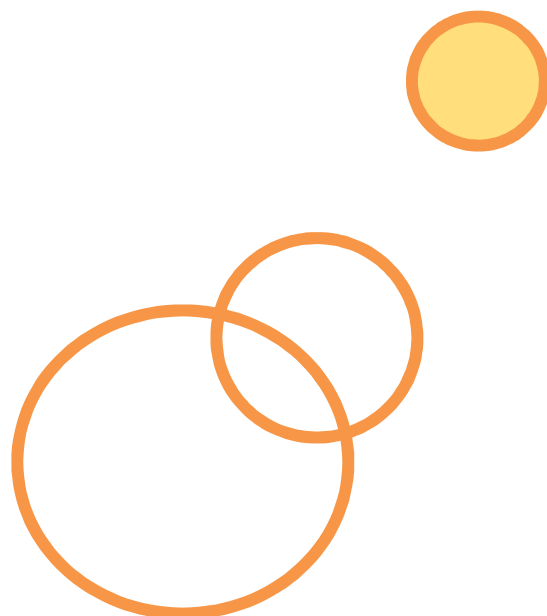
7<その1>では、「各会計の決算概要」を掲載しており、あわせて参考資料も掲載しています。
8<その2>では、「多賀城市まちづくり報告書」として施策・基本事業の動向等を掲載しています。
9<その3>では、実施計画事業及び主要事業の「事務事業評価表」を掲載しています。

この報告書は、市民と行政とがまちづくりの進み具合を共有するための資料として作成し、公表しています。

なお、すでに公表している令和2年度までの本報告書については、市ホームページでもご覧いただけます。

Ⅳ 多賀城市まちづくり報告書

(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)



IV 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)

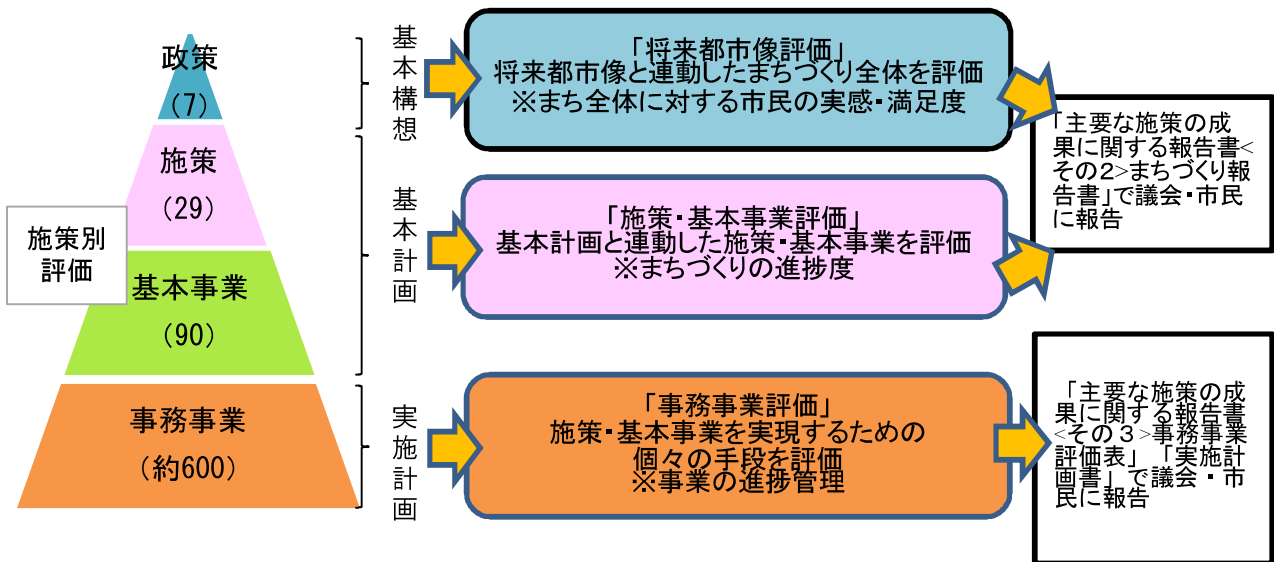
1 多賀城市まちづくり報告書(第六次多賀城市総合計画進捗状況報告)とは

多賀城市まちづくり報告書は、総合計画の目指すまちの姿の実現に向けて、まちづくりがどの程度進んでいるのか、事業の成果は上がっているのかといったことを示すため、令和3年度の決算を踏まえて、まちづくりの成果報告書として作成しています。

施策、基本事業における成果指標の推移を踏まえた成果状況等の結果を「施策別評価」として示すことで、総合計画の進捗状況等を明らかにしています。

また、複数年での指標の推移を確認することにより、指標のうごきが外的要因による突発的なものなのか、社会情勢の変化等による必然的なものなのかを見る目安となり、限られた行財政経営資源の「選択と集中」及び行政活動の「改革と改善」への活用が期待されます。

一般的には、事務事業の成果が向上することで基本事業の成果が向上し、基本事業の成果が向上することで施策の成果が向上する仕組みになっています。



(1) 施策別評価の概要

① 施策別評価とは

施策別評価は、階層分けした施策及び基本事業について、指標の推移を踏まえた成果状況やその原因分析等の評価結果を施策ごとに示すものであり、これにより総合計画の進捗状況等を明らかにするとともに、その評価結果を次の施策や事業展開に活かしていくこととしています。

施策や基本事業に対して、その目的がどの程度達成されたのかを測るものさしとして「指標」を設定し、成果状況を数値で表すことで、総合計画の進捗状況や事業の成果状況を客観的に把握し、分析していくこととしています。

② 指標のうごきからみるまちづくりの状況

施策・基本事業の指標の動向を前期基準値に対する「指標のうごき」で捉えるとともに、指標の令和7年度前期目標値に対する「目標達成度」を捉えることとし、これらをもとに総合計画の進捗状況を示しています。

2 全体の動向

(1) 将来都市像指標のうごき

本市の将来都市像「日々のよこびふくらむまち 史都 多賀城」実現に向けたまちづくり全体の達成状況とまち全体に対する市民の実感・満足度を測るものとして、次の指標を設定しています。

指標	このまちに住み続けたいと思う市民割合						市民アンケートにより取得
							上がると良い指標
前期基準値	実績値 (R03)	実績値 (R04)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	実績値 (R07)	目標値 (R07)	
71.8%	70.8%	-	-	-	-	↗	

(2) 指標全体のうごき(施策・基本事業別)

指標のうごきは、指標の前期基準値からの推移状況をもとに下表のとおりです。「晴れ(向上)」、「晴れ(横ばい)」、「曇り(横ばい)」、「雨(低下)」の4段階の区分で表しています【9ページ「指標のうごき」参照】。

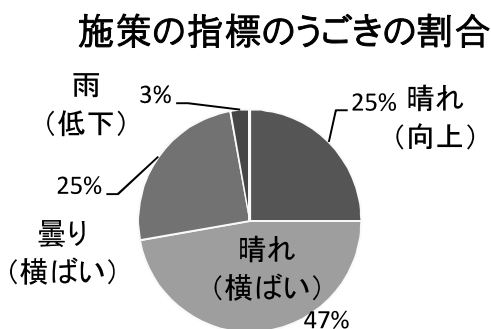
施策と基本事業の「指標のうごき」の状況は下図のとおりとなっています。

成果が向上している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「学校生活が楽しいと思う生徒割合(中学生)」、「経常収支比率(水道事業)」、「教育・保育施設等の定員数」、「連携している在宅医療機関、介護事業所の数」、「基本的な生活習慣を身に付けている児童・生徒割合(小学生・中学生)」、「特定事業所の水質基準の達成割合」、「事業系ごみの年間排出量」、「担い手農業者数」、「新たな魅力が創出された地域資源等の個数(累計)」、「市民参画や協働を取り入れている事業数」、「市税の収納率」、「Web上で手続きが可能な業務数」です。

成果が低下している主な施策・基本事業の指標は、「地域子育て支援拠点の利用者数」、「社会体育施設等の利用者数」、「市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数」、「有効求人倍率」、「歴史文化資源活用事業参加者数」です。

① 施策数、指標数及び指標のうごきの割合等

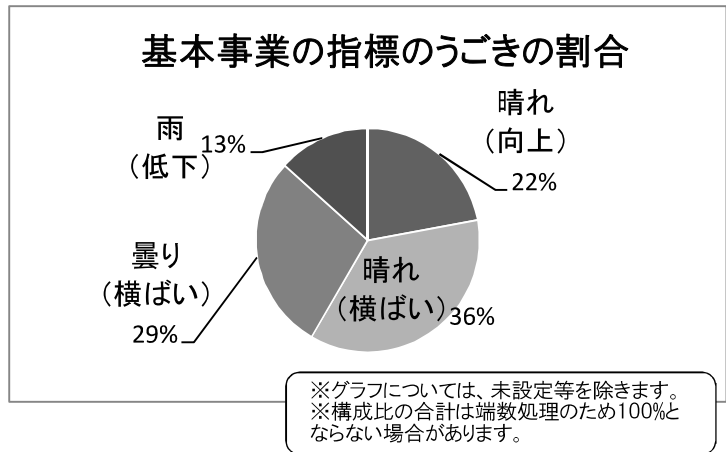
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
晴れ(向上)	9
晴れ(横ばい)	17
曇り(横ばい)	9
雨(低下)	1
未設定等	2



※グラフについては、未設定等を除きます。
 ※構成比の合計は端数処理のため100%と
 ならない場合があります。

②基本事業数、指標数及び指標のうごきの割合等

基本事業数	90
指標数	142
(内訳)	
晴れ(向上)	25
晴れ(横ばい)	41
曇り(横ばい)	32
雨(低下)	15
未設定等	29



(3) 政策別の指標全体のうごき(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の指標のうごきの状況は下図のとおりとなっています。

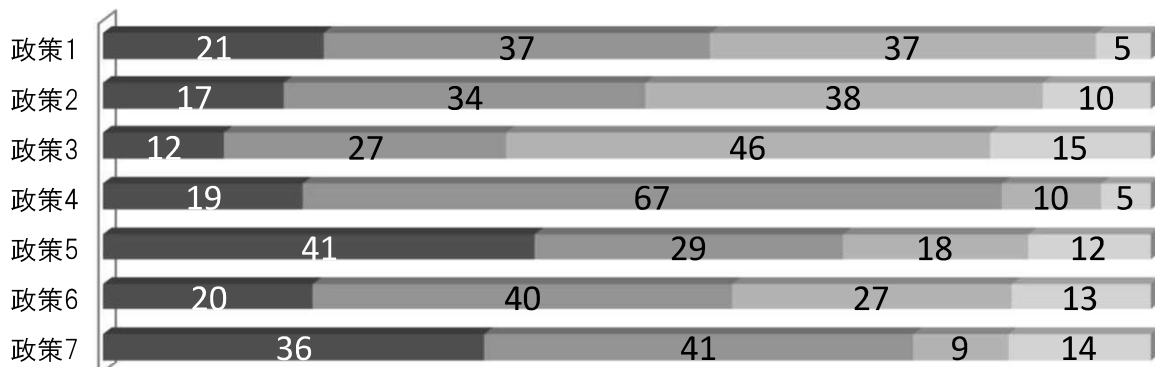
◎施策・基本事業の指標数及び指標のうごき

	晴れ(向上)	晴れ(横ばい)	曇り(横ばい)	雨(低下)	未設定等	計
政策1	4	7	7	1	1	20
政策2	5	10	11	3	13	42
政策3	3	7	12	4	3	29
政策4	4	14	2	1	5	26
政策5	7	5	3	2	1	18
政策6	3	6	4	2	0	15
政策7	8	9	2	3	8	30
計	34	58	41	16	31	180

単位:%

施策・基本事業の指標のうごきの割合(政策別)

■晴れ(向上) ■晴れ(横ばい) ■曇り(横ばい) ■雨(低下)



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%とならない場合があります。

(4) 指標全体の目標達成度(施策・基本事業別)

指標の令和3年度における前期計画目標値への目標達成度を、「達成(前期目標値を達成しているもの)」、「高(令和6年度までに達成する可能性が高いもの)」、「中(令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの)」、「低(令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの)」の4段階の区分で表しています【9ページの目標達成度参照】。

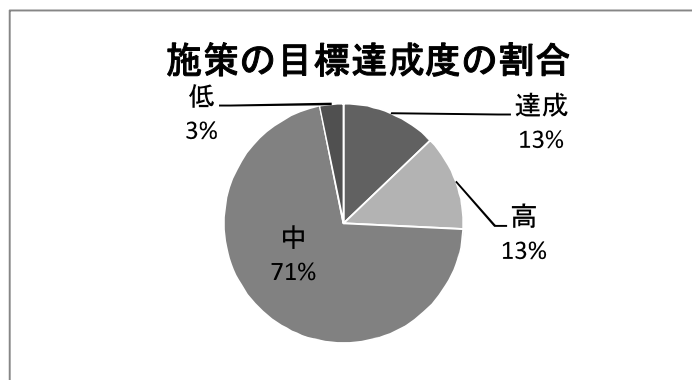
施策と基本事業の「目標達成度」の状況は、下図のとおりとなっています。

前期目標値を達成している主な施策・基本事業の指標は、「子育てしやすいまちであると思う保護者割合」、「経常収支比率(水道事業)」、「適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合」、「基本的生活習慣を身に付けている児童・生徒割合(小学生・中学生)」、「特定事業所の水質基準の達成割合」、「市民参画や協働を取り入れている事業数」です。

前期目標年度で達成することが難しいと見込まれる主な施策・基本事業の指標は、「市民を対象とした環境保全に関する環境講座の参加者数」、「市の創業支援を受けて創業した人の数(累計)」、「歴史文化資源活用事業参加者数」です。

① 施策数、指標数及び目標達成度の割合等

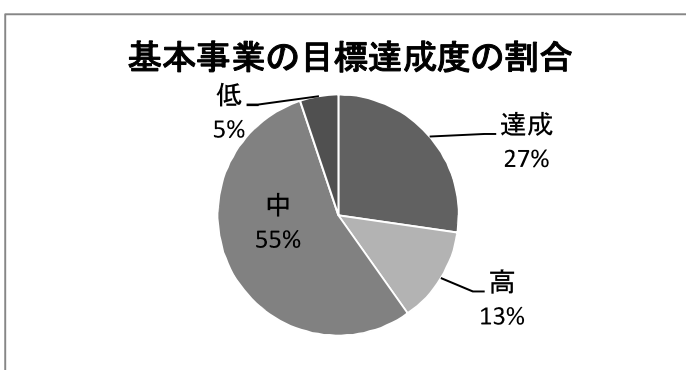
施策数	29
指標数	38
(内訳)	
達成	4
高	4
中	22
低	1
未設定等	7



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

② 基本事業数、指標数及び目標達成度の割合等

基本事業数	90
指標数	142
(内訳)	
達成	32
高	15
中	64
低	6
未設定等	25



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため100%と
ならない場合があります。

(5) 政策別の指標全体の目標達成度(施策・基本事業合計)

① 全体の傾向

施策と基本事業の指標を「政策」ごとにまとめた政策別の目標達成度の状況は下表のとおりとなっています。

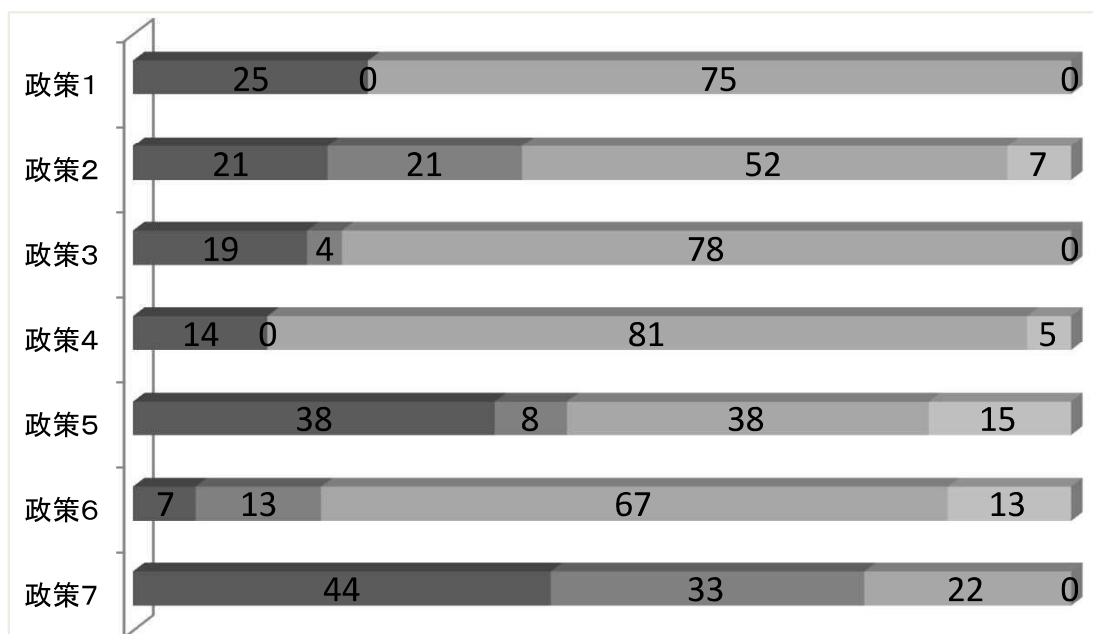
◎施策・基本事業の指標数及び目標達成度(政策別)

	達成	高	中	低	未設定等	計
政策1	4	0	12	0	4	20
政策2	6	6	15	2	13	42
政策3	5	1	21	0	2	29
政策4	3	0	17	1	5	26
政策5	5	1	5	2	5	18
政策6	1	2	10	2	0	15
政策7	12	9	6	0	3	30
全体	36	19	86	7	32	180

単位:%

施策・基本事業の目標達成度の割合(政策別)

■ 達成 ■ 高 ■ 中 ■ 低



※グラフについては、未設定等を除きます。
※構成比の合計は端数処理のため

3 施策・基本事業の動向(成果指標等一覧)

(1) 施策・基本事業評価の見方

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の成果状況は、左側のページとなるよう調整しています。

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心に暮らすことができています。

【指標の区分】

目指す姿の実現具合を測るものさしとして設定している指標は、その特性により次の3つに区分しています。

成果: 目指す姿の達成度を示すもの

社会: 事業状況を指標化したものの、行政の関与よりも社会経済情勢等の影響が大きいもの

代替: 成果の指標化が難しい場合に、代替指標として行政の活動量等を設定したもの

【取得方法】

市民アンケート: 毎年定期的に市民3,000人を対象に行う多賀城市まちづくりアンケートにより取得する方法

職員アンケート: 毎年定期的に職員を対象に行うアンケートにより取得する方法

業務取得: 業務内で取得する方法

課独自調査: 指標を取得するために各課等が行うアンケート等により取得する方法

【指標特性】

上がると良い: 数値が上がると良い指標

下がると良い: 数値下がると良い指標

その他: 数値の増減で良し悪しを判断できない指標

【前期基準値】

原則として、次のような取得年度となっています。これ以外の年度に取得している場合には、評価欄に記載しています。
市民アンケート、職員アンケート指標: 令和2年度に取得
業務取得、課独自調査指標: 平成31年度に取得

【担当部署】令和4年度担当部署を記載しています。

施策の成果状況と評価

まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合

① 成果 市民アンケート 上がると良い 危機管理課

(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地区区での防災訓練が中止になりましたが、復興事業の完了と地域の自主防災組織の充実によって市民の安心感向上につながっていることが要因と考えられます。
【統計誤差の範囲内です。】

評価

【評価】

「(原因)」は、前期基準値と比較した際の実績値の数値変化(累計については、前期目標値に対する数値(成果)の進捗状況)に対応した原因分析の内容を記載しています。

また、市民アンケートに係る統計誤差及び前期基準値を原則以外の年度に取得した旨についても、記載しています。

【注釈】指標についての説明を記載しています。

◆は、各年度ごとの実績値です。指標の実績値の推移をグラフで示しています。

▲は、前期基準値及び令和7年度の前期目標値を示しており、目標値が数値の場合には、前期基準値から前期目標値への方向性をラインで示しています。目標値が矢印の場合は、前期基準値のみの表示となっています。

【掲載している施策・基本事業は、掲載例です。実際の内容とは異なります。】

基本事業の成果状況は、はじめりが右側のページとなるよう調整しています。

施策評価と見方は一緒です。

基本事業01 地域防災力の促進(自助・共助)										
指標	災害への備えをしている市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	①	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	-	55.2	↗
評価	災害への備えを4つ以上していると回答した市民割合				<p>80 (%) 70 60 50 40 30</p> <p>基 R03 R04 R05 R06 R07 準</p>					(横ばい)
	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、地区内での防災訓練、講演会等が中止となりましたが、家にいる時間が多くなっていることなどから、家庭における備蓄品や非常持出品の見直し等が進んだことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
										■■■ (中)

【目標値】
 目標値は、次の3つのパターンで表わしています。
 数値：業務データから現状値を把握するもの
 矢印：目標値を数値で表しにくいもの(アンケートによる把握、取得方法変更等)と現状維持のもの
 ※アンケート指標については、統計誤差の関係があるため、方向性を矢印で表しています。
 ー：指標区分が「社会」のもの及び目標設定がなじまないもの

【指標のうごき】
 前期基準値(又は取得初年度)と比較した際の令和3年度の成果指標のうごきを、次の区分により示しています。
 なお、市民アンケートから数値を取得しているものは、一定の統計誤差を考慮しています。
 ☀(向上)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ向上しているもの
 ☁(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微向上(横ばい)であるもの
 ☂(横ばい)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ微低下(横ばい)であるもの
 ☔(低下)：数値(成果)が前期基準値(又は取得初年度)に比べ低下しているもの
 ー：累計以外で前期基準値がないもの、令和3年度に実績値がないもの、指標特性が「その他」のもの、取得初年度のもの
 ※累計については、目標値に対する数値(成果)の進捗状況に応じて、区分しています。

【目標達成度】
 成果指標の前期目標値への令和7年度(前期目標年度)を基準とした、達成度見込みを示しています。
 🏰(達成)：前期目標値を達成しているもの
 ■■■(高)：令和6年度までに達成する可能性が高いもの
 ■■■(中)：令和7年度(前期目標年度)で達成する可能性が高いもの
 ■■■(低)：令和7年度(前期目標年度)で達成することが難しいもの
 ー：前期目標値が「ー」のもの、令和3年度に実績値がないもの

政策1

みんなの力で減災 安全で安心に暮らせるまちづくり
(安全安心)

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 01 防災・減災対策の推進

施策の目指す姿

大規模災害の経験をいかし、みんなの力で災害に強いまちが形成されることで、安全・安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	まち(市民、地域、行政)の防災・減災体制に安心感を持つ市民割合			単位	基準値	実績値(R02)	実績値(R03)	目標値(R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	58.9	—	61	➔
評価	(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの地区内での防災訓練が中止になりましたが、復興事業の完了と、地域の自主防災組織の充実によって市民の安心感向上につながっていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								目標達成度 ■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

指標①	災害への備えをしている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	54.8	—	55.2	→
評価	災害への備えを4つ以上準備していると回答した市民割合 （原因）新型コロナウイルス感染症の影響により、地区内での防災訓練、講演会等が中止となりましたが、家にいる時間が多くなっていることなどから、家庭における備蓄品や非常持出品の見直し等が進んだことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業01 地域防災力の促進（自助・共助）

指標②	災害時に地域で助け合いができると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	57.4	—	56	→
評価	（原因）新型コロナウイルス感染症の影響で、防災訓練の規模が縮小するなど助け合いを実感する機会がなかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

指標①	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	危機管理課	%	100	—	98.7	→
評価	（原因）研修や災害対応業務を経験し、ほぼ全ての職員が災害時に行うべき初動対応や果たすべき役割を理解していることが要因と考えられます。								

基本事業02 公的機関防災体制の確保（公助）

指標②	災害用備蓄品の備蓄率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	%	100	—	100	→
評価	必要数を超えている場合、備蓄率は100%と表現 （原因）既存備蓄品の保存期限等を適正に管理し、計画的に新規購入等を行っていることが要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 災害経験の伝承

指標①	市民に災害経験を伝承する機会を設けた数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	危機管理課	回/年	5	—	3	5
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、災害経験を伝承するイベント等、他者との接触の機会が制限されたことが要因です。								(横ばい) 目標達成度 ■ (中)

基本事業03 災害経験の伝承

指標②	災害の経験を周囲に伝えている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	69.2	—	66.2	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練等の機会も減っており、災害で経験したことを周囲の人に伝える機会等、他者との接触の機会が制限されたことが要因です。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい) 目標達成度 ■ (中)

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 02 防犯対策の推進

施策の目指す姿

犯罪に関する総合的な取組が進み、市民一人ひとりの防犯意識が高まることで、みんなの力で犯罪に遭わない、起こさせない地域が形成され、安全・安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	刑法犯認知件数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	480	—	258	—
評価	暦年での件数 (原因) 防犯ボランティア・警察と連携した地域のパトロールや、乗物盗を減少させるための定期的な啓発活動を行ったことが要因と考えられます。								

指標②	犯罪が少なく、安心して暮らせる地域になっていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	79.2	—	80	→
評価	(原因) 地域のボランティアの見守り活動やパトロールの姿を目にすることで、安心と感じられていることが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

指標①	防犯対策に取り組んでいる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	70.9	—	68.7	→
評価	防犯対策を2つ以上していると回答した市民割合			<p>(原因) 9割の市民が家の戸締りを徹底していますが、戸締り以外の防犯対策に取り組んでいる割合が低くなっていることが要因です。一方で、市内JR4駅で防犯ボランティア団体と協力して乗物盗防止に向けた啓発活動等で防犯対策への取組を呼びかけていることなどから、大きな低下とはなりませんでした。【統計誤差の範囲内です。】</p>					

基本事業01 地域ぐるみでの防犯体制の促進

指標②	防犯活動に取り組んでいる市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	危機管理課	%	24.6	—	22.7	→
評価	防犯活動に取り組んでいる市民割合			<p>(原因) 高齢者を中心に声かけやあいさつ運動等の活動が行われているものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、活動機会が制限されたことが要因と考えられます。【統計誤差の範囲内です。】</p>					

基本事業02 防犯機能を有する施設・設備の保全と整備

指標①	防犯機能を有する施設・設備の整備件数 (累計)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	危機管理課	件	—	—	7	60
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計。防犯街路灯と防犯カメラの合計			<p>(原因) 防犯カメラについて、新設の届出がなかったことが要因です。なお、防犯街路灯補助については、地域が自主的に設置する防犯街路灯に対し設置申請により補助金を交付しています。</p>					

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 03 安全な消費生活の確保

施策の目指す姿

消費生活に関する知識を深めることで自立した消費者が増え、かつ、相談体制を整備することで消費者トラブルが減少し、安全で安心な消費生活を営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	消費者トラブルに遭った市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	下がると良い	地域コミュニティ課	%	9	—	10.2	
評 価	(原因) 令和3年度の消費者トラブルは、令和2年度同様に電話勧誘販売によるトラブルが最も多くなっています。手口が悪質、巧妙化したほか、新型コロナウイルス感染症の影響により在宅時間が長くなったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい)
									目 標 達 成 度
									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消費生活情報の発信

指標①	消費者トラブルに関する対応を知っている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	88.2	—	88.4	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によりトラブルから身を守るための消費者講座や出前講座の開催ができなかったものの、市ホームページ、広報多賀城等で啓発に努めたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								☀️ (横ばい)
					■ (中)				

基本事業02 消費生活相談の推進

指標①	消費者相談で解決策を提示した割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	100	—	100	
評価	他機関への紹介を含む。 (原因) 相談のあった消費生活相談の全てに解決策を提示しています。消費生活相談員が研修会への積極的な参加や、参考図書等での事例案件を整理することで、個々の相談解決スキルの向上が図られていることが要因と考えられます。								☀️ (横ばい)
					🏰 (達成)				

政策 01 みんなの力で減災 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 04 交通安全対策の推進

施策の目指す姿

市民一人ひとりの交通安全意識とまちの交通安全環境を良好に保つことで、交通事故が減少し、安全・安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	交通事故発生件数（人身事故）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	178	—	142	—	—
評価	暦年での件数 （原因）警察による取り締まりや交通安全関係団体と連携した啓発活動により一人ひとりの交通安全に対する意識が高まっていることと、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が要因と考えられます。									

指標②	市民が第1当事者となった交通事故発生件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	件/年	169	—	138	—	—
評価	暦年での件数 （原因）交通安全関係団体、警察等との連携による交通安全運動や啓発運動により、市民の交通安全に対する意識が高まっていることと、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛が要因と考えられます。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全情報の発信

指標①	交通安全啓発活動人数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	危機管理課	人/年	8,528	—	3,998	→	
評価	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、市民総ぐるみ運動の出発式や、高齢者向けサボカー体験会等が中止となり、例年どおりの啓発活動を行えなかったことが要因です。</p>								(低下)	
									目標達成度 (中)	

基本事業01 交通安全情報の発信

指標②	飲酒運転検挙者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	社会	業務取得	下がると良い	危機管理課	人/年	13	—	9	—	
評価	<p>(原因) 飲酒運転の根絶に向けて、交通安全推進関係団体、塩釜警察署、仙台育英学園と連携し、継続的に交通安全啓発活動を行っていることが要因と考えられます。</p>								(向上)	
									目標達成度 ---	

基本事業02 交通安全環境の保全と整備

指標①	交通安全施設整備率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	都市整備課	%	100	—	100	100	
評価	<p>(原因) 道路パトロールによる危険箇所の発見や安全施設設置要望があった場合には、設置基準に基づき速やかな対応を実施していること、また、通学路の路面標示、区画線等を適正に整備していることが要因です。</p>								(横ばい)	
									目標達成度 (達成)	

政策2

健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

(健康福祉)

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 01 地域福祉の推進

施策の目指す姿

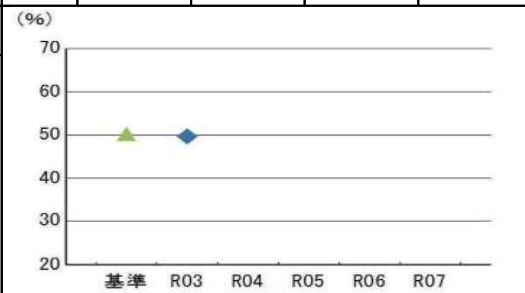
地域で助け合い、支え合いができる環境が整うことで、誰もが心豊かで安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

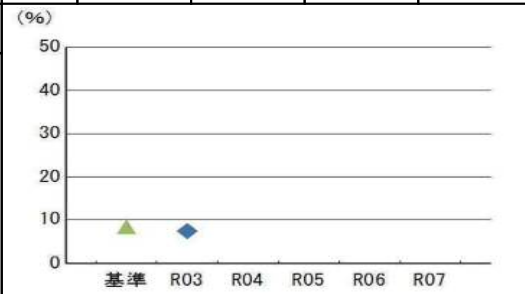
指標 ①	地域で手助けしたり、されたりする環境が整っていると 思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	46.1	—	42	→
評 価	(原因) 年代が上がるほど割合は高くなっているものの、若い年代を中心に割合が低い傾向がみられます。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、自治会・町内会や地域の活動が減少傾向にあり、地域における助け合い、支え合いを実感しにくかったことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								 (横ばい)
					■ ■ (中)				

□基本事業の成果状況と評価

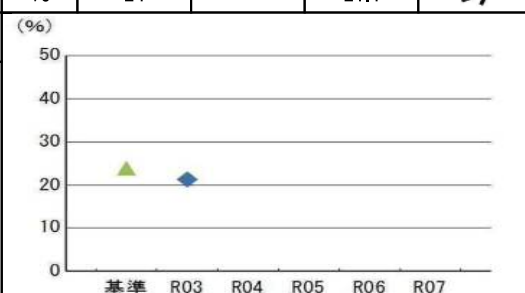
基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

指標①	福祉活動に取り組む意識がある市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	50.3	—	49.7	→
評価	福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。 (原因) 若い世代や就労世代において福祉活動に対する興味関心が低いことや新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉活動への参加機会の減少などが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業01 地域福祉意識の醸成と多様な担い手の育成支援

指標②	福祉活動に取り組んだことがある市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	8.4	—	7.4	→
評価	福祉活動とは、手助けしたり助け合う取組です。 (原因) 60代以下の世代で、福祉活動を行っている方が少ない傾向にあります。新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会・町内会や地域活動への参加機会の減少などが要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 地域で見守り合う仕組みづくり

指標①	要配慮者を助け合う仕組みが整っていると思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	社会福祉課	%	24	—	21.4	→
評価	(原因) 全ての世代で約2割程度が要配慮者を助け合う仕組みが整っていると感じていますが、「わからない」と回答した方が約3割であり、地域で助け合う仕組みやその必要性が共有できていないことも要因の1つと考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 02 健康づくりの促進

施策の目指す姿

一人ひとりが自らの健康管理や病気などの予防に取り組むことで、健康に暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標①	自分が健康だと思う市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	76.7	—	75.6	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による健康への不安や、感染対策のための行動制限等による生活の変化が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								(横ばい) 目標達成度 (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標①	健康に良い生活習慣の平均実践項目数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	5.72	—	5.56	→
評価	全12項目中 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、行動制限等があったことが要因と考えられます。								

基本事業01 生活習慣の改善

指標②	毎日朝食をとっている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	71.8	—	70.6	→
評価	(原因) 若い世代ほど欠食率が高く、時間的余裕のなさが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

指標①	定期的に健康診査を受けている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	79.1	—	79.9	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による健診受診控えが予想されましたが、感染対策が徹底されたことや健診の必要性について周知啓発したこと等が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

基本事業02 疾病予防・早期発見・早期治療等の推進

指標②	各種がん検診を受けている市民割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	63	—	64.9	→
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響による検診受診控えが予想されましたが、感染対策が徹底されたことや検診の必要性について周知啓発したこと等が要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 母子保健の充実

指標①	乳幼児健診の平均受診率			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	子ども家庭課	%	98.6	—	95.6	→
評価	指標は、集団健診の平均受診率です(個別受診数を含みません。)								 (横ばい)
	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響から、1年間通して受診日の変更が多かったことや、特に2歳6か月児歯科健診にて感染予防の観点から、集団健診を避けて歯科医院を受診した人が増えたことが要因と考えられます。								 目標達成度
								 (高)	

基本事業03 母子保健の充実

指標②	出産後の支援について満足している者の割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	子ども家庭課	%	90.9	—	83.7	→
評価	3~4か月児健診時のアンケート調査結果								 (低下)
	(原因) 妊娠期から継続した支援は実施しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、産前産後サポート事業において部分的に時間短縮や人数制限を行ったことや、病院等の機関においても、両親学級等の中止や出産前後の面会制限等があり、人との交流の機会が減ったことが要因と考えられます。								 目標達成度
								 (高)	

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 03 子育て支援の充実

施策の目指す姿

子どもの育ちや子育て家庭を支える地域社会が形成されることで、不安なく子育てを行い、子ども一人ひとりが健やかに育つことができています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	子育てしやすいまちであると思う保護者割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	子ども政策課	%	46.1	—	52		→
評 価	中学生以下の子どもの保護者対象									☀ (向上)
	(原因) 教育・保育施設等の待機児童数が減少していることや子育ての悩みに対する相談窓口が整備されていることが要因と考えられます。									目標 達成度
										🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

指標①	妊娠や出産、子育てに関する市の相談窓口を知っている保護者の割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
				%	86.4	—	81.2	→	(低下) 目標達成度 (高)
評価	小学生までの子どもを持つ保護者対象								
	(原因) 子育てサポートセンター、保育所、幼稚園、児童館など成長過程で相談できる場があり高い水準を保っていますが、新型コロナウイルス感染症の影響で児童館等のイベントが中止となり、知る機会が減少したことが、要因と考えられます。								

基本事業01 親子の健やかな育ちの支援

指標②	自分の子ども(乳幼児)に対して、育てにくさを感じている保護者割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	下がると良い						
				%	20.7	—	27.1	→	(横ばい) 目標達成度 (中)
評価	3歳児健診時のアンケート調査結果								
	(原因) 子育て世代包括支援センター事業等、子育ての悩みに対する支援を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の制限や変更等により、支援を受ける機会が減ったことが要因と考えられます。								

基本事業02 地域における子ども・子育て支援の充実

指標①	地域子育て支援拠点の利用者数			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い						
				人/年	52,099	—	34,800	55,000	(低下) 目標達成度 (高)
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの中止や利用制限を行ったことが要因です。								

基本事業03 安定した保育の提供

指標①	教育・保育施設等の待機児童数 (国定義)			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い						
				人	46	—	16	0	(向上) 目標達成度 (低)
評価	各年度4月1日現在の数値								
	(原因) 教育・保育施設等の開設や施設の定員増により、全体の定員数が増加していることが要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 安定した保育の提供

指標②	教育・保育施設等の定員数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	子ども政策課	人	1,334	—	1,420	1,628	
評価	各年度4月1日現在の数値									目標達成度
	(原因) 教育・保育施設等の開設や定員増となった施設があったことが要因です。									■

基本事業04 子育ての経済的負担の軽減

指標①	子育ての経済負担の軽減総額				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	子ども政策課	百万円	1,612	—	2,614	—	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う子育て世帯臨時特別給付金や低所得子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金の実施が要因です。									目標達成度

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 04 高齢者福祉の推進

施策の目指す姿

高齢者が自立し、いきいきと活躍できる社会が形成されることで、生涯にわたり安心してその人らしく暮らすことができています。

施策の成果状況と評価

指標①	自立高齢者の割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	83.9	—	83.9	82.3	
評価	(原因) 全国的に高齢化が進み、本市においても同様の状況のため要介護認定者数の増加が見込まれるものの、介護予防事業(総合事業)の推進や、地域での介護予防活動等により、要介護等出現率の抑制が図られたことが要因と考えられます。								目標達成度 🏰 (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生きがい活動の推進

指標①	生きがいを持っている高齢者の割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	%	94.2	—	94.3	→	
評価	(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、感染状況に応じた感染対策を徹底し、高齢者の活動の場を確保できたことが要因と考えられます。 【統計誤差の範囲内です。】									目標達成度
					☀ (達成)					

基本事業02 介護予防の推進

指標①	介護保険の認定を新たに受けた市民割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	%	3.3	—	3.6	—	
評価	介護保険認定を新たに受けた人数/第1号被保険者数 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、外出自粛の期間が長期化し、フレイル状態に陥る高齢者が増えたことが要因と考えられます。									目標達成度

基本事業02 介護予防の推進

指標②	介護予防のための行動平均実践項目数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	健康長寿課	項目	6.02	—	5.89	→	
評価	40歳以上の市民対象 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、介護予防につながる各種事業への参加者が減少し、市民に生活習慣の改善を直接呼びかける機会が減少したことが要因と考えられます。									目標達成度
					☐ (中)					

基本事業03 日常生活の支援

指標①	介護予防・日常生活支援総合事業サービスの利用者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	572	—	688	—	
評価	(原因) サービスの利用者数は増加しており、65歳以上人口に対する利用者割合は平成31年度は2.7%、令和3年度は4.3%となっています。新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や交流の機会が減り、フレイル状態や認知機能が低下した方が増えたことが要因と考えられます。									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 地域包括ケアの充実

指標①	連携している在宅医療機関、介護事業所の数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	か所	70	—	76	80	☀ (向上)
評価	<p>(原因) 在宅医療・介護連携の必要性を感じている医療機関等や介護事業所が増えたことが要因と考えられます。新型コロナウイルス感染症の影響により、感染のリスクを考え参加を控えた医療機関等や介護事業所があり、令和2年度とほぼ横ばいになっています。</p>				<p>(か所)</p>				☀ (向上)	
					目標達成度	■■■ (高)				

基本事業05 認知症対策の推進

指標①	認知症の方への対応方法を知っている市民数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	人	3,551	—	3,825	6,901	☀ (横ばい)
評価	<p>認知症サポーター養成講座受講者数の累計</p> <p>(原因) 一般市民向けの講座は、感染状況を考慮しながら継続して実施していますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、市内中学生向けの認知症サポーター養成講座を中止したことが要因です。平成31年度までは市内中学生向けの講座を実施していたこともあり年間400人から600人の受講者でしたが、令和2年度以降は平均140人程度の受講者となっています。</p>				<p>(人)</p>				☀ (横ばい)	
					目標達成度	■■ (中)				

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 05 障害者（児）福祉の推進

施策の目指す姿

障害者（児）がその適性や能力に応じて、安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標 ①	障害者（児）がその適性や能力に応じて安心して暮らしていると思う割合			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき	
	成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	62.8	—	—	→	
評価	障害者計画策定時実施のアンケート結果									---
	(原因) 障害者（児）を対象にしたアンケートによる指標であり、令和3年度はアンケートを実施していないため、実績値を取得していません。 【前期基準値取得年度は、平成29年度です。】									目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 自立支援の推進

指標①	自立支援給付の延べ利用者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	1,172	—	1,304	—	
評価										目標達成度
	<p>(原因) 障害者の人数が増えていることによって、全体的にサービス利用件数が増加していることが要因です。特に放課後等デイサービス及び就労系サービス(就労継続支援A型B型)の利用件数が増加しており、サービス利用に必要な計画相談件数も増加しています。</p>									---

基本事業02 地域生活支援事業の利用促進

指標①	地域生活支援事業の延べ利用者数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	10,002	—	10,101	—	
評価										目標達成度
	<p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動支援センター事業の利用件数が大幅に減少していますが、日常生活用具給付等事業、訪問入浴サービス事業、在宅酸素利用助成事業及びコミュニケーション支援事業等の利用件数が増加していることが要因です。</p>									---

基本事業03 児童発達支援の推進

指標①	適切な療育サービスが受けられていると思う保護者割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	介護・障害福祉課	%	100	—	100	→	
評価	児童発達支援利用者対象のアンケート結果									目標達成度
	<p>(原因) 児童の状態等を踏まえた個別支援計画を作成し、専門職による適切な支援を行うことで、児童の発達を促し、保護者の不安軽減にもつながっていることが要因と考えられます。</p>									☀️ (横ばい)
										🏰 (達成)

基本事業03 児童発達支援の推進

指標②	発達相談を受けた児童の数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	181	—	196	—	
評価	児童発達支援センターと母子健康センターで発達相談(専門職相談)を受けた児童の数									目標達成度
	<p>(原因) 平成27年度に児童発達支援センター太陽の家を開設し、相談支援体制の充実を図るとともに、相談支援体制の周知や関係機関による働きかけが進んでいることが要因と考えられます。</p>									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

指標①	延べ特別障害者手当等給付件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	件/年	935	—	951	—	---
評価	(原因) 重度障害者(児)が増加していることが要因です。									目標達成度

基本事業04 各種手当・医療費等助成の給付

指標②	延べ心身障害者医療費助成件数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	件/年	27,805	—	27,298	—	---
評価	(原因) 受給対象者数が微減となったことが要因と考えられます。									目標達成度

政策 02 健やかで優しい 支え合いのあるまちづくり

施策 06 社会保障等の充実

施策の目指す姿

社会保障制度等により、市民の生活基盤が確保されることで、誰もが安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	—			単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	①		その他	社会福祉課	-	-	-	-	-
評価	国の政策等の影響が大きいため成果指標は設定していません。								目標達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標①	国民健康保険税の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	93.4	—	93.7	→	
評価	(原因) 令和2年度に実施した、低所得者層に対する負担軽減措置や、キャッシュレス決済の開始などが要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (中)

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標②	後期高齢者医療保険料の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	国保年金課	%	99.2	—	99.3	→	
評価	(原因) 後期高齢者医療制度被保険者数の増加に伴い、年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者数も増加していることが要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標③	介護保険料の現年度収納率				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	%	99.4	—	99.5	→	
評価	(原因) 介護保険被保険者数の増加に伴い、年金からの特別徴収により保険料を納付する被保険者数も増加していることが要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業01 保険制度の適正な運営

指標④	1人当たりの国民健康保険医療費				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	国保年金課	円/年	378,790	—	411,886	—	
評価	(原因) 前期高齢者の加入割合が高くなっていることが要因と考えられます。									--- 目標達成度 ---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

指標①	自立による生活保護廃止世帯件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課	世帯	—	—	31	175	
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標達成度
	<p>（原因）令和3年度の自立による廃止31世帯中、就労による収入の増加・取得による廃止が20世帯であり、就労支援員等による就労指導等、就労指導の効果が上がったことが要因と考えられます。</p>									■ (中)

基本事業02 生活保護受給者（世帯）への自立支援

指標②	生活保護受給世帯数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	社会福祉課	世帯	571	—	607	—	
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標達成度
	<p>（原因）高齢世帯の傷病や収入の不安定さを理由とした保護開始件数が増加したことが要因です。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されましたが、各種生活困窮者向け緊急経済対策等による支援があったことで、微増にとどまっています。</p>									---

基本事業03 公営住宅の適正な運営

指標①	低所得者の入居割合				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	都市計画課	%	90.2	—	92.9	—	
評価	収入超過していない世帯の割合									目標達成度
	<p>（原因）公営住宅法に基づき収入超過者への住み替えなどの話し合いが進んでいることが要因です。</p>									---

基本事業04 生活困窮者への自立支援

指標①	生活困窮者に係る支援により課題が解決した件数（累計）				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	社会福祉課	件	—	—	432	1,500	
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計									目標達成度
	<p>（原因）複数年度にわたる相談を継続的に実施していることや新型コロナウイルス感染症の影響により生活困窮者に陥った方に対する様々な制度支援の適切な紹介を行ったことが、要因と考えられます。</p>									■ (中)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

指標①	施設サービスを利用している市民数				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	その他	介護・障害福祉課	人/年	461	—	473	—	—
評価	(原因) 認知症対応型共同生活介護施設(グループホーム)介護老人福祉施設の利用者が増加していることが要因です。									目標達成度

基本事業05 介護保険サービスの適切な利用

指標②	介護サービス事業者・施設への実地指導件数 (累計)				単位	基準値	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R07)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	介護・障害福祉課	件	—	—	7	25	25
評価	前期目標値及び実績値は、令和3年度を初年度とする5年間の累計 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業所への立入りが制限されていたことから、施設への実地指導を文書審査により実施したことが要因です。									目標達成度
					■■■ (高)					

